

奈良井川水系基本高水流量の基本方針

1. 流域の概要

奈良井川は、茶臼山を源にし南北に細長い上流部を通り、途中、小曾部川 鎖川 田川 等（女鳥羽川、薄川は田川の支川）を合流し松本市西部を通り抜け、犀川に合流している流域面積648.5km²の河川であります。その流域には、塩尻市、松本市の都市があり治水上重要な河川としての位置をしめています。

2. 検討方針

治水安全度（計画規模）

奈良井川水系では、流域面積、想定氾濫区域内の面積、人口、資産、及び公共施設等、社会的経済的重要性を考慮して、治水安全度（計画規模）を1/80としています。

水文資料

昭和元年から平成14年度末までの77年間の2日雨量について収集し検討しました。なお、薄川については、昭和30年から平成14年度末までの47年間の24時間雨量についても収集し検討しました。

流出解析

奈良井川、田川、薄川、女鳥羽川について貯留関数法を用いて解析を実施しました。

3. 検討結果

